

## 4年生の担任の先生方へ

この「社会科ワークの進め方」などはもし社会科ワークを課題に出す場合、がんばろうと思っている児童が「何を、どうすればよいか分からない」「分からないからあとで解答を写して終わる」という状況にならないための1つの手立てとして作成しました。活用できそうでしたらご自由にご活用ください。

### (注意)

ワークには地図の読み取りなど、児童がつまづきそうな問題があります。この手引きでスラスラワークが解けるようになり、劇的に意欲向上することはありません。

「無いよりは…」というものです。なので、実態の応じた手立ては必要です。

他教科も含め、何か良い課題物・手立て・学習手段があればぜひ教えてください。

↓以下は作成者の勝手な見方です(ご参考までに)↓

### 4年生の社会科ワーク(P10)までには

自力で進めるのは難しい児童がいるのでは・・・という部分がいくつかあります。

【例】P1, P3(3), P5, P7(2), P8(読み取りや作業の難易度が高い), P9の2など

児童の実態を踏まえての課題設定が必要だと思えます。

よろしく申し上げます。

藍住西小 山下



「社会科ワークを自分で進めるなんて…」と不安に思ったあなた!

ワークは使う資料しりょうが見つかれば自分でも進められるところがいっぱいです。  
コツをつかめばだいじょうぶ! 進め方にあわせてまずやってみよう!

# 社会科ワークの進め方

## 1. ワークを見て使う資料しりょうをさがそう

ワークのページの上の方に使う資料とページが書いてあるよ!  
書いていないページは1Pずつもどってさがしてみよう。

【たとえばワークP2・3の場合】

P2・3の上の方には使う資料が書いていないけど、  
前のページのP1にもどると上の方に書いてあるよ!



ワークに資料が  
のっていることも  
あるよ!

## 2. 資料を読み取り, 問題を考えよう

①ワークにのっている資料の場合, 問題をよく読んでから  
資料をよく見て読み取ろう。

②わたしたちの徳島県や教科書を使う場合,  
文やほかの資料(写真・図・せつ明など)を  
よく読んだり, よく見たりしよう。



資料の読み取りが  
大切です。  
音読もいいですよ。



③資料をじっくり見ながら, ワークの問題を考えてみよう!

【地図はすみずみまでよ〜く見よう!】

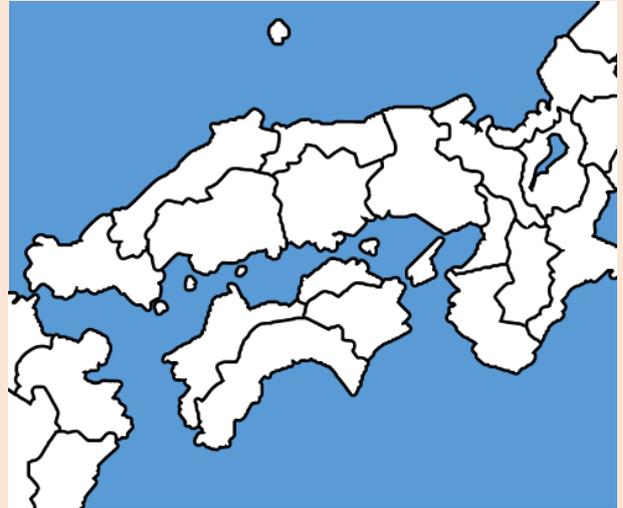
ワークP2の3の問題の海・川・周りの  
県名は, わたしたちの徳島県P2・3に  
すべてのっているよ! じっくり見てみよう。

ほんとにあるかな…  
あ!こんなところに  
のってる!





むずかしいと感じた問題は、べつの日に考えてみるなど時間をかけてやってみてもいいですからね。もちろん他のものを使って調べたり、聞いたりしてもOKです。  
あせらず・あきらめずにやってみましょう。つぎは地図の読み取りヒントです。



左の地図をみて、右の地図の徳島県を赤くぬりましょう。  
という問題、みなさんはどうやって考えますか？  
「すぐ分かる!」という人は「分からない…」となやむ人にどうやって伝えればよく分かってもらえるか考えてみてね。



## 地図の読み取りヒント

### ○ さがすもののとくちょうをおぼえる

徳島県の形やおよそのいち、四国のなかの東がわなど  
さがすもののとくちょうをおぼえてさがしてみよう。

### ○ 目じるしを決めてさがす

たとえば、徳島県の近くの島(淡路島あわじしまといいます)  
この島を目じるしにしてさがしてみよう。  
近くに徳島県があるはずですよ。



知っている知しきをいかして考えるのもいいですね。  
「徳島県のいちには知らないけど、高知県ならわかる!」という時は、  
高知県かんけいと徳島県のいちの関係からさがすこともできますよ。

さがすもののとくちょうを知ったり、さがし方をくふうしたりすると地図は読み取りやすい!  
地図帳をいっぱいみたりクイズを出したりするのもグッド!ぜひいろんなものをさがしてみよう。